

第4回例会

一般質問から



市民クラブ
木下八重子
議員

新年度予算編成の重点目標について

質問 新年度の予算編成がすでに始まり、改選期のため骨格予算になると思うが、何を優先、重点として取り組みたいと考えているのか伺う。

答弁 当初予算は骨格予算となりますが、継続的な事業は、市内の経済状況を勘案しながら切れ目なく予算化していく必要があり、最終年となる義務教育施設の耐震化や道路などの計画的なインフラ整備事業などは、当初から予算化していく必要があると考えています。

高齢者の外出時の交通手段の確保について

質問 通院や買い物の際に、自宅からバス停まで歩いて行けない方に対し、乗合タクシーではなく、

1年に何枚かタクシーチケットを配付して戸口から外出できるような施策を考えているのか伺う。

答弁 平成27年2月から実施する敬老特別乗車証事業の利用実態調査を基に、高齢者の外出支援等を福祉施策全体の中で総合的に判断し、高齢者が住み慣れた地域で安心、安全に生活できるよう検討していきます。

市立病院に機能移転した休日夜間急病センターについて

質問 平成26年10月1日から市立病院の夜間救急外来に休日夜間急病センターが機能移転したことから、市立病院の休日、夜間の患者数が増えたと思うが、市民の評価と看護師や検査技師が過剰勤務になっているのか伺う。

答弁 機能移転して2か月が経過し、この間の延患者数は644人で、前年同期との比較で181人、1日平均6・3人増加しています。大きなトラブルもなく順調に診療を行っており、スタッフの増員や他部門との連携を取って対応しています。今後も救急医療体制の維持と充実に努めていきます。

地域創生について



新政会
関藤 龍也
議員

質問 地方創生関連2法案が成立したが、本市の活性化にとってどのような打開策となるのか伺う。

答弁 地域の実情に応じた自主的な取り組みに対し国が支援する仕組みであり、これまで本市独自で取り組むことが困難であった施策、事業の実施が可能となることから、地域活性化の打開策につながることを期待しています。

質問 この法案は、市町村の努力義務として基本的方向性を示すこととされているが、本市においては検討されているのか伺う。

答弁 地方創生交付金等の支援策が国で検討されており、本市においても総合戦略策定が必要となることから、検討組織の設置も視野に入れ、早期に策定を目指します。
質問 地方再生特区として、①外国人就労都市特区、②中空知教育中心都市特区、③空の街航空都市特区などの人口減少打開策を提案

するが、考えを伺う。

答弁 そのような特区も一つの考え方だと思います。地方人口ビジョンの策定が望まれる中、これらの特区がどのような形で影響を及ぼすのかを考えながら、また、国の規制等の対応もあわせて、地方版総合戦略の策定に向け検討していきたいと考えています。

給食費の無償化について

質問 市長公約であった給食費の無償化は今後も検討されていくのか伺う。

答弁 安全、安心な給食の提供のため、老朽化が著しい給食施設の整備を最優先に進めていくことから、直ちに無償化できる状況にはありません。

質問 給食費の徴収が条例により公会計になるが、特別な理由がある場合は免除又は減免されるとなっている。3子以上の家庭に措置を適応する考えはないのか伺う。

答弁 現在の減免措置は、食物アレルギーがある場合等を想定していますが、今後そのような制度ができれば、条例に規定し実施することになると思います。